

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	塩釜漁港の指定施設(物揚場、岸壁、護岸及び物揚場横泊地)
指 定 管 理 者 の 名 称	塩竈市観光物産協会
施 設 所 管 部 課 (室)	水産林政部水産業基盤整備課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成29年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	塩竈市観光物産協会	
令和4年4月 ~ 令和9年3月	指定管理	塩竈市観光物産協会	
年 月 ~ 年 月			

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	塩竈市観光物産協会
	所在地	塩竈市海岸通15-1
指 定 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	塩釜漁港の指定施設(物揚場、岸壁、護岸及び物揚場横泊地)	
所 在 地	塩竈市新浜町1丁目地先	
設 置 年 月	平成13年4月	
根 拠 条 例 等	漁港管理条例	
設 置 目 的	プレジャーボート係留を適正化し、漁業者とのトラブルを防止することにより、漁港の適正な管理を図るもの。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	m ²
	構 造	
	内 容 (泊地)延長665メートル及び幅員25メートル	
開 館 (所) 日	通年	
開 館 (所) 時 間	午前 時 分 ~ 午後 時 分	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	漁港管理条例第18条 第2号 指定施設の使用許可に係る申請書の受付に関する業務 第3号 指定施設の維持管理に関する業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前 年 度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
開館(所)日数	365 日	365 日	365 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	82 隻	82 隻	82 隻	100.0%	100.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前 年 度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
プレジャーボート係留	40 隻	38 隻	40 隻	100.0%	105.3%
漁船等係留	42 隻	44 隻	42 隻	100.0%	95.5%
	隻	隻	隻	-	-
	隻	隻	隻	-	-
	隻	隻	隻	-	-
合 計	82 隻	82 隻	82 隻	100.0%	100.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前 年 度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
県指定管理料	1,244	1,244	1,244	100.0%	100.0%
利用料金収入				-	-
その他	610	514	610	100.0%	118.7%
収入計 (a)	1,854	1,758	1,854	100.0%	105.5%

(2) 支出

人件費				-	-
施設管理費	1,854	1,147	1,152	62.1%	100.4%
事業運営費				-	0.0%
その他				-	0.0%
支出計 (b)	1,854	1,147	1,152	62.1%	100.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	611	702	-	114.9%
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

6. 評価対象年度(令和4年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
	評価	評価	評価	評価	評価	評価	
①管理運営体制	厳正な巡回及び点検等の実施により、適正な漁港管理を行うことに努めた。		厳正な巡回及び点検の実施により、適正な漁港管理を行うことができたことにより、塩釜漁港の保全・秩序維持の確保ができた。 次年度に関しても、引き続き巡回及び点検を行いながら、漁港の利用者数促進、利用者に対するサービス及び満足度の向上に努めたい。		A	業務量に対し適正な人員配置がなされていると認められる。	A
人員体制	正規 4人	非正規 1人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	定期的な清掃を行い利用者が快く使用できる環境を整えることに努めた。また、各組合と定期的に連絡を取り合い情報の共有を図るなど、施設の管理業務を効率的に行うことに努めた。		定期的な清掃を行い利用者が快く使用できる環境を整えることに努めることができた。漁港の植栽景観の向上の推進に関しては取り組めなかったが、駐車場付近の草刈りを実施し、景観の維持に努めた。		B	指定施設がいつでも利用に供されるよう、適正に管理されていると認められる。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	各組合と連携及び協力し合いながら、日中及び夜間パトロール、清掃活動を実施。		各組合と協力し合いながら、日中及び夜間パトロール、清掃活動を実施してきた。次年度も引き続き取り組んでいきたい。		A	関係書類の管理に一部改善を要する箇所が見られるが、概ね正しく整理されており、適正に実施されていると認められる。	B
④自主事業の実施	自主事業の実施なし		自主事業の実施なし				
⑤利用者サービスの向上	利用者サービスの向上に向け定期的に漁港の見回りを実施し、利用者より意見の聞き取り等を実施するように努めた。		見回り時や報告の際に要望などがないかを聞き取りにて調査した。		A	定期的な見回りや利用者への意見の聞き取り等、利用者サービスの向上が図られていたことが認められる。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	苦情はなかったが、釣り具の盗難被害が発生しており、防犯面強化の要望があった。 防犯カメラの導入が望まれるが、予算上すべての組合に必要なだけの台数を用意することが困難であり、海岸付近の環境に耐えうるカメラ高額であるため、現状だと購入できない。		防犯面の強化としてカメラの導入が望まれるが、現状は予算の都合で対応難しい。 市内電気屋に予算内で購入可能なカメラを見積り中ヲ実施した。しかし、繰越金の殆どを使用してしまい、耐用年数経過後の費用捻出等の問題も孕んでおり、各組合によって設置に対しては意見が様々であるため、意見調整をして設置を検討する。		B	窓口対応等、漁業者等から寄せられる要望に対し、都度適切に対応出来る体制を整えていたと認められる。	A
⑦安全対策	漁港などの巡回・点検を徹底した。巡回は職員や組合員などの2名で行い、破損箇所等の早期発見や見落としがないよう実施した。また緊急時に備え、ヘルメットや救急箱等、災害時に必要な物を各船で装備するように声掛けを実施した。		緊急時に備え、ヘルメットや救急箱等、災害時に必要な物の各船での装備するように声掛けを実施することができた。次年度も、引き続き安全対策に向けて積極的に取り組んでいきたい。		A	安全対策が適切に実施されたと認められる。	A
⑧県民の平等利用	利用者から信頼される指定管理者として、自治法・その他の関係法令を遵守し施設の平等な利用者の確保に努めることができた。また、漁港利用希望者の申請を合理的な理由なく制限しないことを職員及び組合員に徹底することに努めた。		各組合と連携を取り合い、利用希望者からの問い合わせ等に対して素早い対応をとることができた。漁港利用希望者の申請を合理的な理由なく制限しないことを職員及び組合員に徹底したい。		A	問い合わせ者に対し区別なく対応することで、県民の平等利用は確保できたと認められる。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報が含まれる書類等については、当事務所内の書庫(鍵付き)に保管し、同書類の外部持ち出しの禁止を徹底した。	個人情報が含まれる書類等については、当事務所内の書庫(鍵付き)に保管し、同書類の外部持ち出しの禁止を徹底した。次年度も個人情報に関する書類の取扱いには十分に注意を払いながら業務を行うことに努めたい。	A	現地調査の結果、個人情報の保護が徹底されていると認められる。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	新型コロナウイルスの余波や高齢化によって船を売却する利用者が増えており、全体の隻数は減少傾向にある。	B	利用希望者を随時受け入れられるよう、適正な維持管理を行っていたと認められる。	A
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	別会計で支出していた、人件費を計上することで適正な会計管理を行った。消耗品等については在庫を把握、節約することで経費の削減ができた。	A	必要十分な維持管理及び運営業務が行われていると認められる。	A
⑫その他の取組	地域住民・関係機関との連携し、本市の商業及び観光振興や漁港への集客や利用促進を目的として、釣り大会を企画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、取り組むことができなかった。次年度も新型コロナウイルスの状況を見ながらであるが、準備を進めていきたい。	A	施設の利用促進に関する取組が十分なされていると認められる。	A
総合評価		各種組合等と連携・協力を図りながら効率的に指定管理業務を実施することができた。	A	現地調査の結果、概ね適正に実施されたものと認められる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	防犯面の強化は急務であるが、各組合間の調整、費用面並びに耐用年数等の問題もあり、防犯カメラ設置には時間を要する。各組合と連携した防犯面強化の方法を検討する必要がある。	適正な施設管理がされているが、利用者の更なる利便性向上を図っていく必要がある。